

排泄支援

2024年度

バルン抜去率

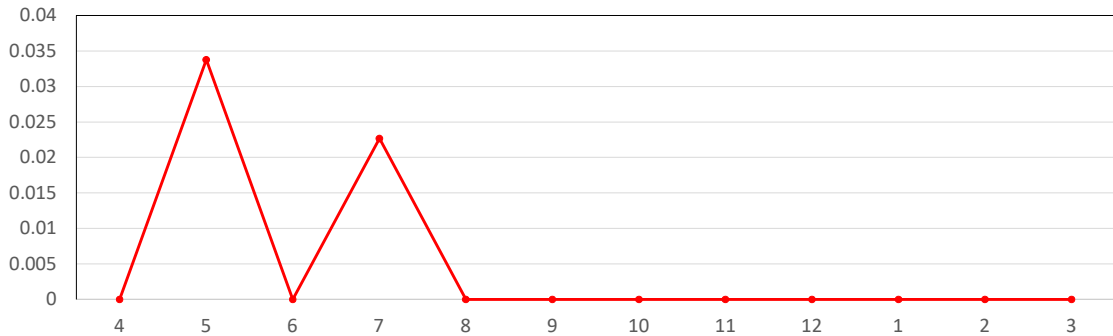


慢性期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
バルン使用比率	指標	0%	0%	0%	5%	0%	0%	4%	0%	8%	4%	0%	
月間バルン抜去患者数	分子	0	0	0	1	0	0	1	0	2	1	0	0
月間留置患者数	分母	27	24	25	21	25	27	28	27	26	26	17	

このグラフは医療療養病棟における2024年度の尿道留置カテーテル（以下バルンとします）抜去率を表したものです。バルンの長期留置は、尿路感染症のリスクを高め、QOLを低下させます。そのため早期抜去が推奨されます。当院では、慢性期医療を必要とされる患者が多く、抜去率が低くなっています。

排泄支援

バルン抜去率



回復期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
バルン使用比率	指標	25%	50%	33%	75%	0%	0%	100%	0%	44%	57%	33%	
月間バルン抜去患者数	分子	1	3	2	3	0	0	2	0	4	4	1	0
月間留置患者数	分母	4	6	6	4	1	2	2	2	9	7	3	0

このグラフは回復期リハビリテーション病棟における2024年度の尿道留置カテーテル（以下バルンとします）抜去率を表したものです。バルンの長期留置は、尿路感染症のリスクを高め、QOLを低下させます。そのため当病棟ではADL向上を目指し、早期抜去に努めています。